



日本共産党品川区議会議員

週刊

みやさき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2009年5月24日 No.664

日本共産党品川区議団ホームページ http://www.jcp-shinagawa.com/



国文学資料館跡地を開放

「防災」と地域住民の憩いの場に



戸越公園と隣接する国文学資料館跡地が、新たな住民の憩いの場に。

国文学資料館跡地(豊町1丁目)が公園として住民に開放、周囲の道路を拡幅し幅2.5mの歩道も整備されて新たな区民の憩いの場になりました。朝9時〜夕方5時(夏場は6時)までの時間帯で利用できます。5月16日には開放記念式典を開催しました。

国文学資料館は08年に移転。

跡地を品川区が購入し今後、公園として整備します。現在、平成23年3月までの予定で品川区役所本庁舎の耐震化工事がすめられており、その間は当跡地の約半分を区の書庫、庁有車の車庫として使用しています。耐震化工事終了後に書庫、車庫を本庁舎に戻して公園として工事を実施します。跡地は全体で1.4畝ですが、今回の開放はそのうち約半分を暫定的に区民に開放したものです。

跡地の公園の計画は、本庁舎の耐震化工事終了までに計画を決めます。今年度と来年度に基本設計と実施設計。平成23年度に工事着工。24年度完成の見通しです。

地震に強い街へ

戸越公園一帯を「広域避難所」に整備へ

首都直下型地震による建物の倒壊と火災の危険度が高い品川区。対策が急がれています。国文学資料館の跡地は、地域、避難住民の安全性の確保目的に「広域避難場所」として整備していくこととなります。

品川区は現在、戸越公園一帯で、都市防災不燃化促進事業と防災生活圈促進事業といった防

災まちづくりに取り組んでいきます。区は、都市型災害への対策などを柱に防災計画をつくり直し、荏原地域では国文学研究資料館跡地を防災拠点のひとつにして整備する考えです。

◆ 品川区は地域住民とともに戸

越・豊町地区防災まちづくりを検討しています。 阪神大震災の際、幅員4.5m未

満道路の7割が建物や塀の倒壊で通行できなかったことを踏まえ、戸越・豊町地区の災害時の避難等に重要な道路ネットワーク計画を検討。道路が通行できなくなるのを防ぐために①沿道建物の耐震性の向上、②倒壊の危険のある塀などを設置しないのルール化を検討。大原通りは、災害時に住民の避難や消火活動の妨げにならないよう道幅を6.5mに広げる拡幅整備をすすめています。

困りのときは

お気軽にご相談ください



みやざき克俊事務所
Tel 3786-6674

新型インフルエンザに注意呼びかけ

新型インフルエンザの感染が国内でも広がっています。新型インフルエンザは、感染力が強いものの、弱毒性で症状も通常のインフルエンザと同じ程度といわれています。一方、品川の区立中学校(2校)が関西方面への修学旅行を延期しました。

品川区は新型インフルエンザの感染拡大防止へ対策本部を設置するとともに、発熱相談センターを開設。土、日、祝日も対応する体制をとっています。「健康状態のことでも、日ごろ気をつけることでも、不安なことはご相談ください」と呼びかけています。

感染防止は日ごろの生活習慣が大切

(公報しながわより)

- 栄養バランスのとれた食生活、適度な運動などで体力をつけましょう。
- 外出時は、マスクを着用しましょう。
- 手洗い、うがいを習慣にしましょう。
- なるべく人ごみを避けましょう。
- せきやくしゃみをするときには、口や鼻を覆いましょう。

使用したティッシュは、感染を防止するために、ビニールなどに包んでから捨てましょう。

感染の心配があったら 発熱相談センターに電話でお問い合わせを！

品川区発熱相談センター Tel 5742-6704 Am9時～Pm5時 土日・祝日も対応

東京都発熱相談センター Tel 5320-4509 Pm5時～Am9時 土日・祝日は24時間